

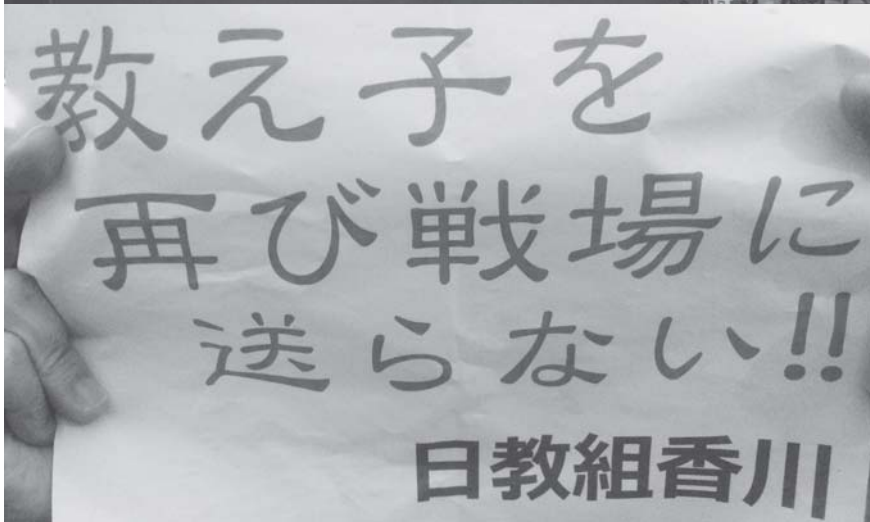
日教組香川 2015. 8



発行所 日教組香川教職員組合
〒760-0008 高松市中野町15-24
佐藤ビル1F
TEL 087-802-1640 FAX 087-802-1642
URL <http://www.jtu-k.com/>
E-mail jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp
発行人 嶋村太伸
毎月10日発行



今こそ不滅のスローガン!



- 2面 安保関連法案阻止集会
- 3面 7.28 県人事委員会独自交渉
- 4面 お知らせ カナリア通信

教え子を再び戦場に送らない!!

安保関連法案廃案にむけて

安倍自公政権は、7月16日に安保関連法案を衆議院で強行採決しました。

これに対し、採決後の各種世論調査では、今国会で成立させる必要がないが60%を超えるなど、反対や慎重な議論を求める国民の声は大きくなっています。また、内閣支持率も30%台に急落し、不支持率が支持率を上回る結果となっています。

参議院の「平和安全法制に関する特別委員会（以下、特別委員会）」は、すべての野党・会派からの45人での構成となり、審議は7月27

日の本会議から始まりました。今後参議院でのたたかいが山場を迎えます。

日教組は、安保関連法案の成立を阻止するとりくみを一層強化するため、書記局に「日教組・安保関連法案対策PT」を設置しました。引き続き、平和フォーラム・戦争をさせない1000人委員会、連合、日政連・推薦議員、退職者組織と連携し、安保関連法案の廃案をめざして、参議院での審議の山場を8月末～9月初旬と捉え、広く国民運動を喚起するため下記の具体的行動にとりくむよう指示を出しました。

日教組香川も、日教組の指示を受

け、県内の「憲法を生かす県民の会」「戦争をさせない香川1000人委員会」「香川総がかり実行委員会」等の提起をうけ、安保関連法案の廃案に向け、活動を強化していきます。

県内集会に参加!!

「香川総がかり実行委員会」主催による『「戦争法案阻止！」7.17総がかり行動 in 高松』（参加者1000人（主催者発表））が7月17日高松市の瓦町駅前で、また、「自衛隊を戦争に行かせない」8.1総がかり行動in善通寺」（参加者800人（主催者発表））が8月1日善通寺で行われ、日教組香川組合員も大勢参加しました。

そして「教え子を再び戦争に送らない!!」をアピールしました。

中央でのとりくみ

「みんなで安倍政権NO! 8.23国民怒りの大集会(仮称)」

8月23日(日)10:30~12:00 国会議事堂周り

「安倍政権の暴走を許さず、安保関連法案の廃案をめざす8.23日教組決起集会」

8月23日(日)13:30~15:00 日本教育会館(予定)

「駅頭街宣行動」

8月30日(日)11:00~12:00

神保町交差点及びJR新橋駅・有楽町駅・秋葉原駅・巣鴨駅・池袋駅

「10万人国会包囲行動」

8月30日(日)14:00~15:30 国会議事堂周り

「安保関連法案の成立阻止! 安倍政権の暴走を許さない9.7日教組結集集会」

9月7日(月)11:00~12:00 日本教育会館

「国会前座り込み行動」

9月7日(月)13:30~15:00

県内のとりくみ

「戦後70年 戦争をさせない集い」

8月22日(土)13:30~ 高松テルサ

『二十四の瞳』上映会(入場無料)

「アベ政治を許さない! 県民大集会」

9月6日(日)14:00~16:00 高松・中央公園

ゲスト(予定)制服向上委員会、PANTA、雨宮処凛

※各集会等への参加希望者は日教組香川書記局まで
フリーダイヤル 0120-27-5925

多くの国民も反対しています!
安保法案の衆議院強行採決を、73.3%がよくなかった。法案そのものに反対が61.5%。政府が「十分に説明していない」が82.9%。
[7月17・18日共同通信世論調査より]

ふたたび戦争をする国に!
60年以上にわたって積み重ねられてきた「集団的自衛権の行使は憲法違反」という政府解釈を安倍政権が覆ったことで、米国の侵略戦争に自衛隊が参戦する可能性が高まっています。日本が戦争当事国となり、自衛隊が国際法違反の「侵略軍」となる危険性が現実のものとなります。

みんなの力で廃案にしましょう!
○この法案の危険性について、身近な人と話し合ってください。
○地元の国会議員にメールや電話で反対の意見を伝えましょう。
○集会やデモに参加しましょう。

反対
NO!
廃案

JTU 日本教職員組合
東京都千代田区一ツ橋2-6-2
http://www.jtu-net.or.jp/

7.28県人事委員会交渉

『「教員業務改善アクションプラン」では十分とっていない』

日教組香川は、7月28日(火)県人事委員会(委員長 桑城 秀樹)と独自交渉を行いました。今回は、5月7日の五者共闘(自治労香川、県職連合、高教組、香教組、日教組香川)での交渉を経ての独自交渉となりました。そこで、今年度は、重点を3点、①多忙化解消、②人事評価制度の整備、③定年延長と再任用制度の確立、に絞り、交渉に臨みました。日教組香川からは、嶋村委員長、岡本高松地区教組委員長、松下特別執行委員が参加しました。

まず最初に多忙化解消では、昨年の報告「その職務と勤務態様の特殊性により、勤務時間の内外を包括的に評価されている教育職員については、事務の根本的な見直しや、可能な限り徹底した簡素化に取り組むなど、実質的な拘束時間の短縮に向けて、具体的なマネジメントの方法等にまで踏み込んだ方策を検討する必要がある。」をさらに強化しての報告を求めました。

桑城委員長からは、「私たちの勧告・報告で、実際どれだけの時間短縮ができていっているのかが見えてこない。」と話がありました。

そこで、日教組香川からは、交渉前日の27日に、文部科学省から出された、「学校現場における業務改善のためのガイドライン～子供と向き合う時間の確保を目指して～」での業務改善の基本的な考え方と改善の5方向性の中から、特に教員と事務職員等の役割分担、事務職員を増員して、教員は本来の教務に専念せる体制づくりの必要性を訴えました。

桑城委員長からは、学校に地域人材が入ることでの多忙化解消の例などの話が出され、相対的に学校現場の忙しさとその解消の必要性に理解を示されました。また、県教委の「教員業務改善アクションプラン」だけでは、不十分であるとの認識もだされました。



桑城人事委員会委員長に要求書を手渡す嶋村日教組香川委員長

その後、②人事評価制度の整備では、人事評価制度の運用にあたっては、『5原則2要件』を担保すること、③定年延長と再任用制度の確立では、段階的な定年延長の実現と、退職者の生活保障としての再任用制度を訴えました。



交渉に嶋村日教組香川委員長と岡本高松地区教組委員長

総合共済

あんしん むすぶ
教職員共済

月額900円で12の保障(補償)がセット!

○教職員賠償責任補償

最高3,000万円

部活中等業務中に発生した賠償責任を補償します。

例 卒業アルバムの校正ミス: 修復費用
 生徒のメガネを破損: 弁償費用
 部活中に公営の施設に損害を与えた: 修繕費用
 給食の止め忘れ: 賠償費用

• 火災等	• 住宅災害等	• 災害見舞
• 入院・休業	• 傷害	• 死亡
• 後遺障害	• 介護	• 個人賠償
• 救援者費用等補償		• 退職見舞金

教職員共済生活協同組合 東四国事業所
 フリーダイヤル 0120-27-8140 (平日9時~17時30分)
 〒760-0004 高松市西宝町2丁目6-40香川県教育会館6階
[http:// www.kyousyokuin.or.jp/](http://www.kyousyokuin.or.jp/)

この広告は総合共済の概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください、制度内容をご確認ください。

【お知らせ】

香川レインボー映画祭プレ上映会

日教組香川はPROUDを応援します!

性とライフスタイルの多様性をテーマにした映画 「僕らの未来」

- ・8月23日 (日) ①13:30~14:50 ②15:00~16:20
- ・高松市男女共同参画センター 2階・第2会議室
- ・参加費 1000円 高校生以下無料
(申し込み不要、各回先着30名)

上映会主催者：香川レインボー映画祭実行委員会 (PROUD)
 映画祭のオフィシャルサイト：<http://www.kagawa-rff.org/>
 (レインボー映画祭で検索してください)



●PROUD (読み方：プラウド) について：代表者：藤田博美。LGBTのサポートグループ (非営利)。1995年8月、高松市内で発足。現在は香川県と岡山県にて、交流会、講演会、上映会などを開催。会員数は香川15名ほど、岡山30名ほど。10代から60代のLGBTや支援者が参加している。2005年より性とライフスタイルをテーマにした「香川レインボー映画祭」を会の内外のメンバーで実行委員会を結成し開催している。
 プラウドのサイト：<http://proud-kagawa.org/> メール：info@proud-kagawa.org

四国ブロックカリキュラム編成講座
教育研究集会

「みんなでやろう いっしょにやろう」
 ～子どもが輝く学校づくり～

8. 22(土) のいちふれあいセンター
 (高知県香南市野市町西野534-1)

- 9:30～ 分科会:実践報告
- 13:20～ 特別分科会:① NIE講座
②ネット見守り講座
- 15:00～ 全体講演 島 恒生さん(畿央大学教授)
「子どもが動く・学校が変わる
—大切にしたい教育の視点」

2015



仲間がいるよ!!!!

2015 四国ブロック青年交流集会 in こうち

日時 2015年9月12日(土)~13日(日)
 場所 大歩危溪谷&三翠園
 内容 1日目 ラフティング 大歩危にて
懇親会 三翠園にて
2日目 交流学習会
 「いざいざ働くことができる学校をめざして—私たちができること—(仮題)」
 講師：野川 孝三さん(日教組総合政策局総合局長)
 北村 智弘さん(弁護士)

カナリア通信

「自分でできることが増えました」

懇談会で嬉しいお知らせを聞きました。
 ▼四月・五月には学校に行き渋っていた子がこの頃は朝から元気に登校していること、家に帰ってからの態度からも成長が感じられること。▼この子の成長は、個別指導で丁寧な指導しただけで現れた成果ではありません。▼支援学級では個別指導が主体ですが、一学級六人もいては、たとえ支援員が助けてくれても十分な個別支援はできません。そこで、子ども同士、特に上級生に下級生のサポートを依頼しました。できることは自分でするように、じっくり待ちました。▼子ども同士の関わりは、上級生にリーダーとしての自覚を、下級生に自分しようという素直な気持ちを育てていきました。▼何人かは、交流学級でも徐々に自分のできることを実際に行うようになり、交流学級の友達とも仲良く過ごすことができるようになりました。▼インクルーシブ教育では、全ての子どもが障害の有無に関わらず受け入れられます。一部の個別支援は必要な支援です。交流学級で受け入れられ、自分の力を発揮している子どもはインクルーシブ教育の在り方を現していると思えます。▼「できたよ。」と言う代わりに見せる子どもの笑顔は、わたしたちへのご褒美でした。保護者からの「家庭での態度の変化」は、幅広い成長を感じさせるもので、わたしにとっても嬉しい知らせでした。▼二学期も楽しく自分の可能性を伸ばしてもらえよう頑張らないと!